安全データシート

Copyright,2022, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	08-6167-4	**版**	18.00
発行日	2022/12/28	**前発行日**	2022/06/21

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ ウレタンボデーシーラーチューブ 8542

3M ストックナンバー
JS-3000-4244-2

7010668307

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
自動車

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	ｵｰﾄ･ｱﾌﾀｰﾏｰｹｯﾄ 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分３
皮膚腐食性/刺激性： 区分２
生殖毒性：区分１
発がん性： 区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分３
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分２
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
炎　感嘆符　健康有害性

ピクトグラム

危険有害性情報

H226	引火性液体及び蒸気
H315	皮膚刺激
H336	眠気又はめまいのおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H351	発がんのおそれの疑い
H371	臓器の障害のおそれ： 感覚器。
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 神経系。
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡する事。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

過去にイソシアネートの感作を受けた人は、他のイソシアネートに対して交差感作反応を発現することがある。
製品の粘度により、誤えん有害性の区分は適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ウレタンポリマー	なし	15 - 40
フィラー	営業秘密	10 - 30
可塑剤	営業秘密	10 - 30
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	10 - 20
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	5 - 10
尿素樹脂	営業秘密	1 - 5
エチルベンゼン	100-41-4	0.30
4、4’ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	0.30
二酸化チタン	13463-67-7	3.0
キシレン	1330-20-7	1.4

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性呼吸反応（呼吸困難、喘鳴、咳、胸部圧迫感）。 アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。 標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。 長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
シアン化水素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気でその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　関係当局が許可した輸送用容器に入れる。圧力上昇を避けるために、48時間以上は密閉しない。　金属製の容器に収納する。　有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　密閉された換気不良の場所で使用しないこと。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　静電気放電に対する予防措置を講ずること。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。　指定された個人保護具を使用する。　着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。　輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。　水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。　酸から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。　アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチルベンゼン	100-41-4	ACGIH	TWA：20 ppm	A3: 動物発がん性物質，耳毒性物質
エチルベンゼン	100-41-4	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
エチルベンゼン	100-41-4	JSOH OELs	TWA(8 時間):87 mg/m3(20 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。（皮膚）
４、４’－ジフェニルメタンジイソシアネート（ＭＤＩ）	101-68-8	ACGIH	TWA：0.005 ppm	

4、4'ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	JSOH OELs	TWA（8時間）：0.05 mg/m3	呼吸器感作性が確認された物質
キシレン	1330-20-7	ACGIH	TWA:20 ppm;STEL:150 ppm	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
キシレン	1330-20-7	ISHL	TLV（8時間）：50 ppm	
キシレン	1330-20-7	JSOH OELs	TWA（8時間）：217 mg/m3(50 ppm)	
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	ISHL	TLV（計算値）（ダストとして）（8時間）：0.025mg/m3	100%と仮定して計算
二酸化チタン	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
二酸化チタン	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):4 mg/m3; TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):1 mg/m3; TWA(8時間):0.3mg/m3	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
ストッダード溶剤	64742-82-1	ACGIH	TWA：100 ppm	
不活性あるいは有害なダスト	9002-86-2	ISHL	TLV（計算値）（ダストとして）（8時間）：0.025mg/m3	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	9002-86-2	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	ACGIH	TWA（吸入性分画）：1mg/m3	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。
フィラー	営業秘密	ACGIH	TWA（吸入粒子）：10 mg/m3	
フィラー	営業秘密	ACGIH	TWA（吸入性粒子）：3 mg/m3	
フィラー	営業秘密	ISHL	TLV（計算値）（ダストとして）（8時間）：0.025mg/m3	100%と仮定して計算
フィラー	営業秘密	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
フィラー	営業秘密	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)（8時間）:8 mg/m3；TWA（吸入性粉じんとして）（8時間）:2 mg/m3	

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA：American Industrial Hygiene Association
ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準
JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。　防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形あるいは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	白色
臭い	溶剤
臭いの閾値	*データはない。*
pH	*データはない。*
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*データはない。*
引火点	45 °C［*試験方法：クローズドカップ法*］
蒸発速度	*データはない。*
引火性（固体、ガス）	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*データはない。*

蒸気密度/相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.19 g/ml ［試験条件： 20 °C ］
比重	1.19 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	>= 300 °C
分解温度	*データはない。*
粘度/動粘度	150,000 - 250,000 mPa-s
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	17 - 21 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
火花ないし炎

混触危険物質
アルコール類
アミン類
水

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 アレルギー性呼吸器反応： 呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
機械的な眼刺激： 疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。

飲み込んだ場合
物理的閉塞： 腹部痙攣、腹痛、便秘などの症状。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
聴覚への影響： 聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。 中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

長時間又は反復暴露した場合：
聴覚への影響： 聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。 神経への影響： 性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性
発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

追加情報
過去にイソシアネートの感作を受けた人は、他のイソシアネートに対して交差感作反応を発現することがある。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l

	(4 時間)		
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
フィラー	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フィラー	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 3 mg/l
フィラー	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
水添脱硫重質ナフサ (石油)	吸入－蒸気		LC50 推定値 20 - 50 mg/l
水添脱硫重質ナフサ (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
可塑剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
水添脱硫重質ナフサ (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
可塑剤	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 12.5 mg/l
可塑剤	経口摂取	ラット	LD50 > 9,700 mg/kg
ポリ塩化ビニル	皮膚		LD50 推定値> 5,000 mg/kg
ポリ塩化ビニル	経口摂取		LD50 推定値> 5,000 mg/kg
二酸化チタン	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
二酸化チタン	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
二酸化チタン	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
キシレン	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,200 mg/kg
キシレン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29 mg/l
キシレン	経口摂取	ラット	LD50 3,523 mg/kg
エチルベンゼン	皮膚	ウサギ	LD50 15,433 mg/kg
エチルベンゼン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 17.4 mg/l
エチルベンゼン	経口摂取	ラット	LD50 4,769 mg/kg
4、4'－ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
4、4'－ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.368 mg/l
4、4'－ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	経口摂取	ラット	LD50 31,600 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
フィラー	ウサギ	刺激性なし
水添脱硫重質ナフサ (石油)	ウサギ	刺激物
可塑剤	ウサギ	わずかな刺激
ポリ塩化ビニル	専門家による判断	刺激性なし
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	軽度の刺激
4、4'－ジフェニルメタンジイソシアネート (MDI)	公的な分類	刺激物

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
フィラー	ウサギ	刺激性なし

水添脱硫重質ナフサ（石油）	ウサギ	刺激性なし
可塑剤	ウサギ	軽度の刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	中程度の刺激
4、4’－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	公的な分類	激しい刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水添脱硫重質ナフサ（石油）	モルモット	区分に該当しない。
可塑剤	モルモット	区分に該当しない。
二酸化チタン	ヒト及び動物	区分に該当しない。
エチルベンゼン	ヒト	区分に該当しない。
4、4’－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	公的な分類	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4、4’－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	ヒト	感作性あり

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
水添脱硫重質ナフサ（石油）	In vivo	変異原性なし
水添脱硫重質ナフサ（石油）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
可塑剤	In vitro	変異原性なし
可塑剤	In vivo	変異原性なし
ポリ塩化ビニル	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vivo	変異原性なし
キシレン	In vitro	変異原性なし
キシレン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
4、4’－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
水添脱硫重質ナフサ（石油）	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
二酸化チタン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
二酸化チタン	吸入した	ラット	発がん性

	場合		
キシレン	皮膚	ラット	発がん性なし
キシレン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
キシレン	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチルベンゼン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
4、4'－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フィラー	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	器官発生期
可塑剤	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 927 mg/kg/日	2 世代
可塑剤	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 929 mg/kg/日	2 世代
可塑剤	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 38 mg/kg/日	2 世代
ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 非該当	妊娠期間中
キシレン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
キシレン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 非該当	器官発生期
キシレン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	妊娠期間中
エチルベンゼン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4.3 mg/l	交配前および妊娠中。
4、4'－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.004 mg/l	器官発生期

授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
キシレン	経口摂取	マウス	乳汁を介した影響および授乳による影響区分に該当しない。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フィラー	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	

水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 6.5 mg/l	4 時間
水添脱硫重質ナフサ（石油）	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	聴覚系	臓器への影響	ラット	LOAEL 6.3 mg/l	8 時間
キシレン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.5 mg/l	非該当
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250 mg/kg	適用しない。
エチルベンゼン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エチルベンゼン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
4、4'－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フィラー	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 4.6 mg/l	6 月
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1.9 mg/l	13 週
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 血液 | 肝臓 | 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.6 mg/l	12 週
水添脱硫重質ナフサ（石油）	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1.3 mg/l	90 日
可塑剤	吸入した場合	呼吸器系 | 造血器系 | 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
可塑剤	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 世代
可塑剤	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 686 mg/kg/day	90 日
可塑剤	経口摂取	肝臓 | 腎臓および膀胱 | 心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	90 日
可塑剤	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 320 mg/kg/day	90 日

ポリ塩化ビニル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.013 mg/l	22 月
二酸化チタン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
二酸化チタン	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
キシレン	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.4 mg/l	4 週
キシレン	吸入した場合	聴覚系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 7.8 mg/l	5 日
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	吸入した場合	心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 造血器系 | 筋肉 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	経口摂取	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	2 週
キシレン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,500 mg/kg/day	90 日
キシレン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
キシレン	経口摂取	心臓 | 皮膚 | 内分泌系 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 免疫システム | 神経系 | 呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.4 mg/l	28 日
エチルベンゼン	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	5 日
エチルベンゼン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3.3 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 筋肉	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.2 mg/l	90 日
エチルベンゼン	吸入した場合	心臓 | 免疫システム | 呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	経口摂取	肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 680 mg/kg/day	6 月
4、4'－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.004 mg/l	13 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
水添脱硫重質ナフサ（石油）	誤えん有害性

キシレン	誤えん有害性
エチルベンゼン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
フィラー	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
フィラー	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
フィラー	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
フィラー	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	EC10	100 mg/l
可塑剤	営業秘密	液状化	実験	30 分	EC50	>83.3 mg/l
可塑剤	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>100 mg/l
可塑剤	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
可塑剤	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
可塑剤	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	100 mg/l
可塑剤	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	無脊椎動物	実験	96 時間	EC50	2.6 mg/l
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
エチルベンゼン	100-41-4	液状化	実験	49 時間	EC50	130 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	大西洋トウゴロイワシ	実験	96 時間	LC50	5.1 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	緑藻類	実験	96 時間	EC50	3.6 mg/l

エチルベンゼン	100-41-4	アミ	実験	96 時間	LC50	2.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	4.2 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.96 mg/l
4、4'ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	液状化	推定値	3 時間	EC50	>100 mg/l
4、4'ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>1,640 mg/l
4、4'ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	ミジンコ	推定値	24 時間	EC50	>1,000 mg/l
4、4'ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
4、4'ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	1,640 mg/l
4、4'ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	10 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
キシレン	1330-20-7	液状化	推定値	3 時間	NOEC	157 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	4.36 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2.6 mg/l

キシレン	1330-20-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	3.82 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.44 mg/l
キシレン	1330-20-7	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.96 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	実験	56 日	NOEC	>1.3 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
フィラー	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
可塑剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	74 %BOD/ThOD	OECD 301F
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	75 重量%	OECD 301F
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	推定値 光分解		光分解半減期（空気中）	12.99 日（t 1/2）	
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチルベンゼン	100-41-4	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	70-80 CO2発生量/理論CO2発生量%	ISO 14593 生分解性試験法（ヘッドスペースCO2試験）
エチルベンゼン	100-41-4	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	4.26 日（t 1/2）	
4、4’－ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	推定値 加水分解		加水分解の半減期	20 時間（t 1/2）	
二酸化チタン	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
キシレン	1330-20-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90-98 %BOD/ThOD	OECD 301F
キシレン	1330-20-7	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	1.4 日（t 1/2）	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
フィラー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
可塑剤	営業秘密	推定値 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<14.4	OECD305-生体濃縮度試験
水添脱硫重質ナフサ（石油）	64742-82-1	実験 生態濃縮		生物濃縮係数	>1000	

ポリ塩化ビニル	9002-86-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチルベンゼン	100-41-4	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	1	
4、4'ージフェニルメタンジイソシアネート（MDI）	101-68-8	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	200	OECD305-生体濃縮度試験
二酸化チタン	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	
キシレン	1330-20-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	25.9	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： １１３３ 接着剤

輸送分類（IMO）：3 引火性液体

輸送分類（IATA）：3 引火性液体

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）

労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
化管法：第１種指定化学物質
消防法：指定可燃物（可燃性固体類）
船舶安全法、航空法：引火性液体類

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
エチルベンゼン	エチルベンゼン	該当	該当
４、４’－ジフェニルメタンジイソシアネート（ＭＤＩ）	メチレンビス(4,1-フェニレン)＝ジイソシアネート	該当	該当
二酸化チタン	酸化チタン(Ⅳ)	該当	該当
キシレン	キシレン	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	分類（2023年3月31日まで）	分類（2023年4月1日以降）
キシレン	キシレン	80	第1種指定化学物質	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１：製品用途 情報の追加.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション８：mg/m3 記号 情報の追加.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：保護具 - 眼 情報修正.
セクション８：ppm 記号 情報の追加.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション１０：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション１５：法規名 - 表 情報の削除.
セクション１５：毒物及び劇物取締法の表 情報の追加.
セクション１５：化管法の表 情報の追加.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（こ

れらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDS**は日本のウェブサイトから入手できます。**